

苗箱洗浄機

取扱説明書

SW-305

も く じ

ご使用になる前に

- はじめに 1
- 安全のため必ずお守りください 2
- 各部の名称とはたらき 5
- 使用前の準備 6

ご使用にあたって

- 作業のしかた 7

知っておきたいこと

- 定期点検と調節 9
- 長期格納 10
- 消耗部品 10
- 不調の原因と処置 11

その他

- 仕様 11
- 安全確認一覧表 12

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。

なお、仕様等の変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

■ 危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

警告 ……もし守らないと、重傷事故を引起すことがあります。

注意 ……もし守らないと、負傷事故を引起すことがあります。

2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

重要 ……もし守らないと、機械の故障や損傷につながります。

3. その他

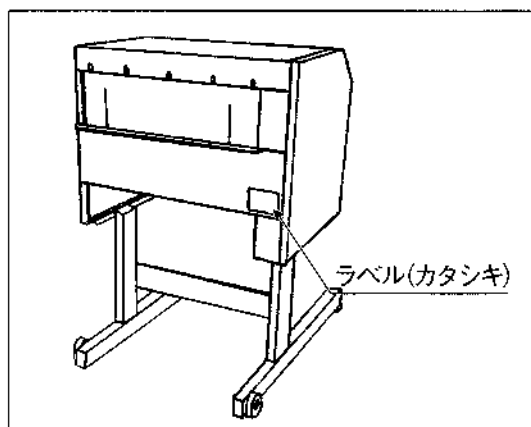
補足 ……その他、使用上役立つ補足説明を示します。

■ ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社(本書のうら表紙に記載)までお問合せください。

軽い故障でも重大事故につながる可能性がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



警告

- 本機は水稲用プラスチック苗箱の洗浄用として設計されています。この他の用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

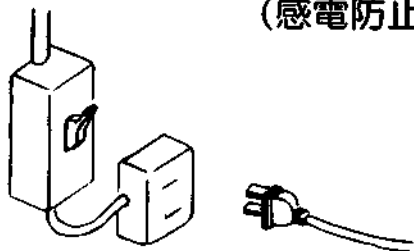
⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

使用前にこの取扱説明書をよく読み、理解する

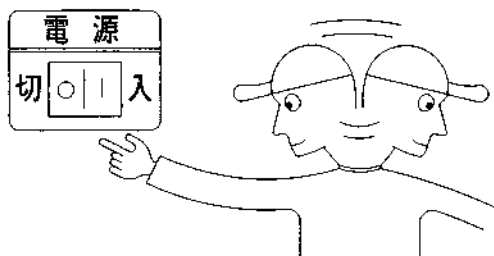
機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

漏電ブレーカの設置されたコンセント使用

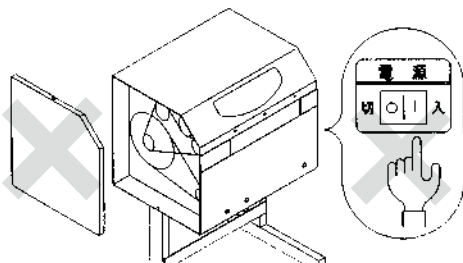
(感電防止)



周囲の安全を確認してからスイッチ「入」

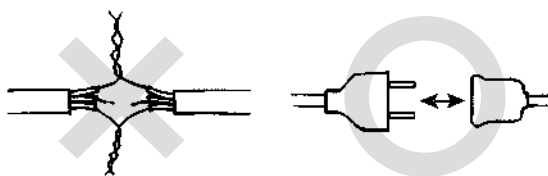


カバーを外したり開けたままでは絶対スイッチを入れない



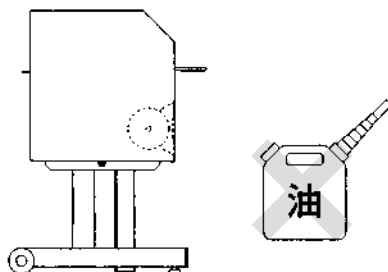
電源コードの延長はオス・メスの防水コネクタで接続

(感電・火災防止)



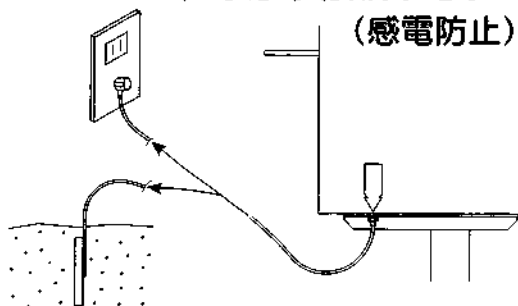
モータの近くには燃えやすいものを置かない

(火災防止)



アースコードは必ず接続する。

(感電防止)



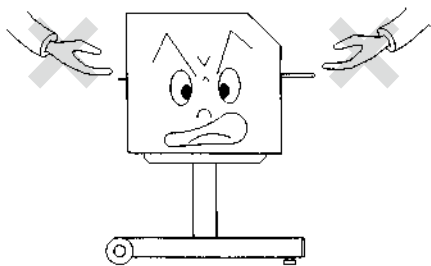
作業するときには手袋は着用しない

(巻き込み防止)

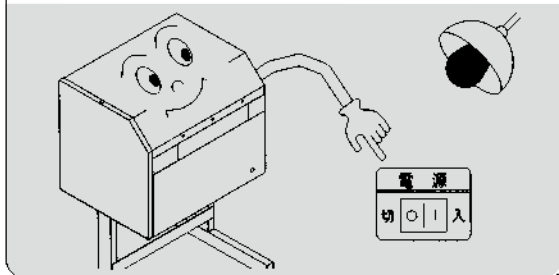


! **注意** 安全のため必ずお守りください

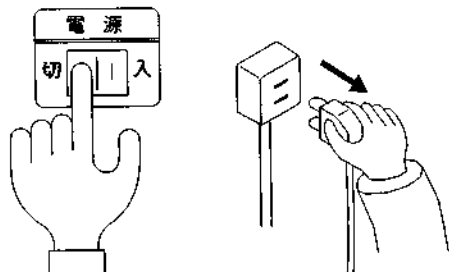
運転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れない



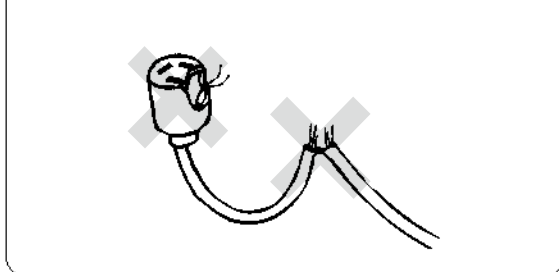
停電やブレーキ作動時はすぐにスイッチを切る



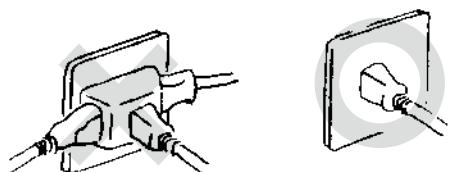
異常が発生した場合はすぐにスイッチを切りプラグを抜く



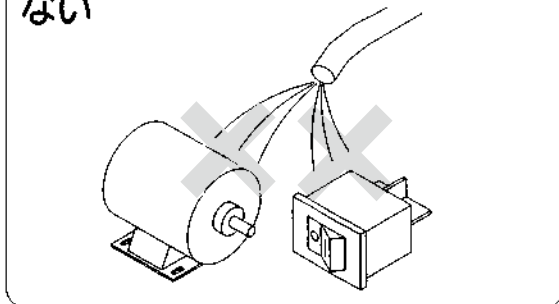
コードやプラグがいたんだらすぐに交換 (感電・火災防止)



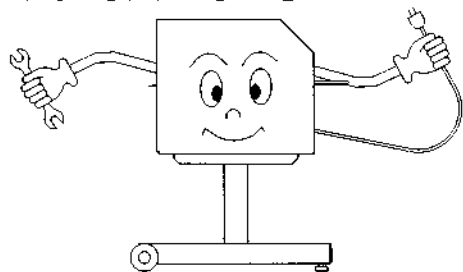
タコ足配線はしない



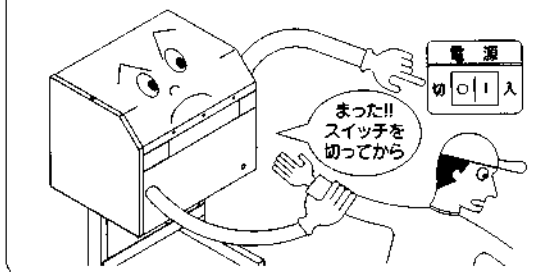
モータやスイッチには水をかけない



点検・調整はスイッチを切り、プラグを抜いてから



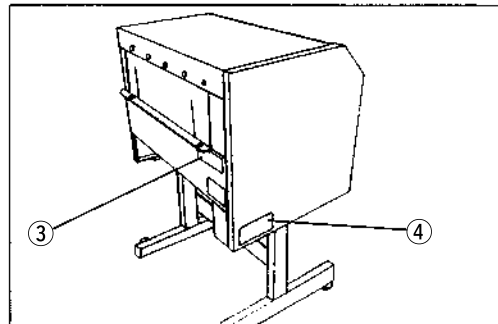
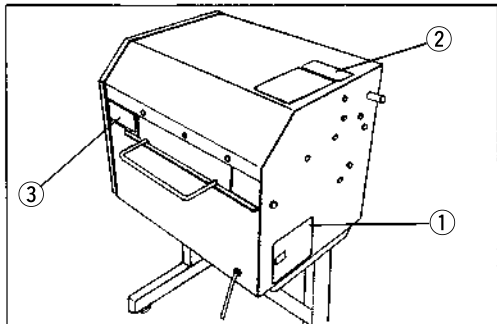
機械から離れるときは必ずスイッチを切る



⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

使用前に安全ラベルをよく読む

● 苗箱洗浄機には次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。



① 014136-2165-1

電源	▲ 注意
切 <input type="checkbox"/> 入	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全に作業するために、必ず取扱説明書をよく読んで機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。 2. 取扱説明書がない場合は購入店に連絡し、取寄せてください。 3. 機械から離れる時は、スイッチを切ること。 万一モーターが過熱したり、周囲の人が手を触れると危険です。 4. 停電、ブレーカ作動時はスイッチを切ること。 電気が復帰した時、すぐに回りだし危険です。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> アース 取出口 </div>	

② 05J066-6113-1

▲ 注意
<p>中の回転物によりケガをするおそれがあるので、このカバーを外したままで使用しないこと。</p>

③ 014312-2194-1

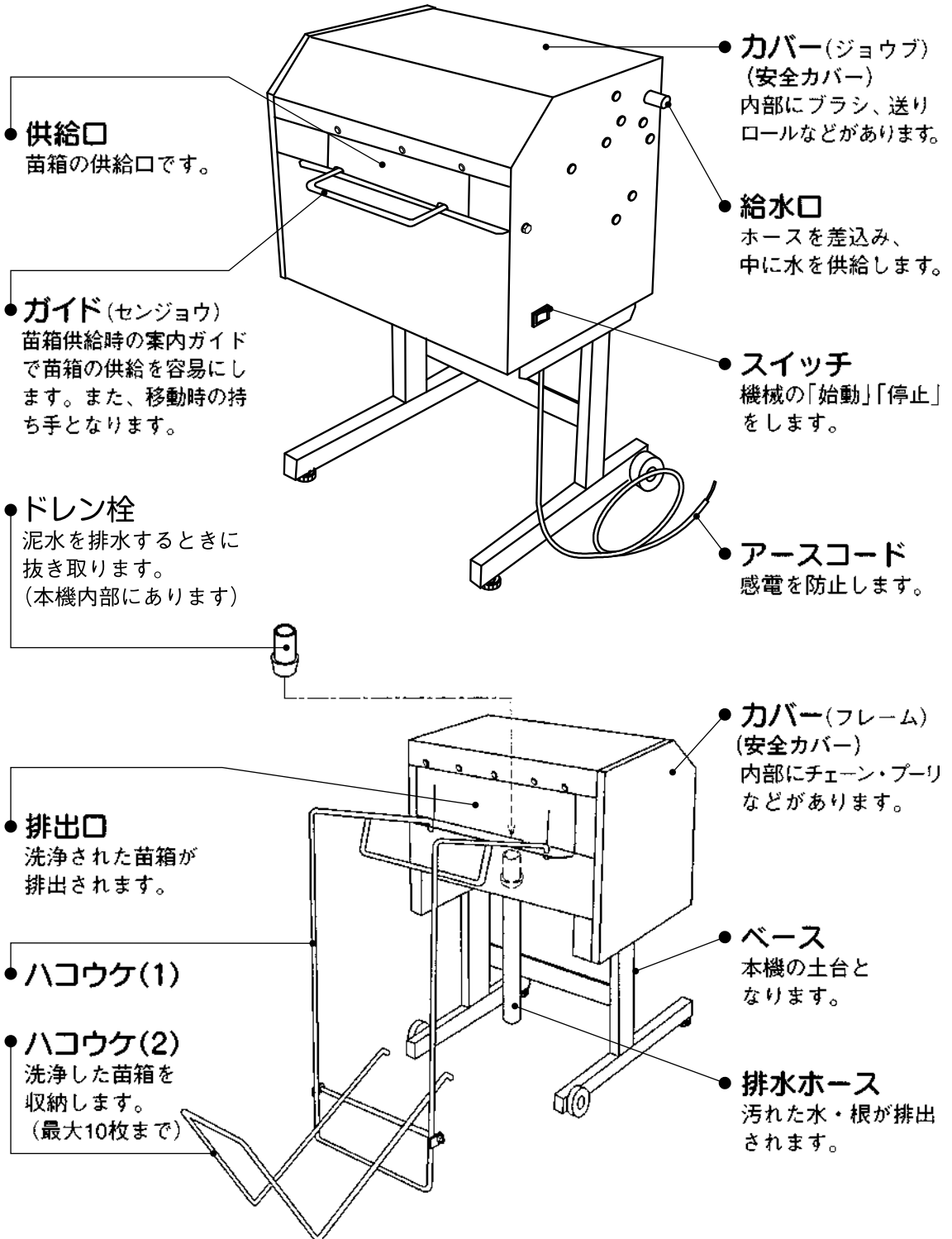
▲ 注意
<p>回転中、この中に手を入れないこと。 中の回転物に巻き込まれケガをすることがあります。</p>

④ 057422-7119-1

▲ 注意
<p>このカバーを外したままで使用しないこと。 中の回転物に巻き込まれることがあります。</p>

- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シンナーやアセトン等の溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

各部の名称とはたらき



使用前の準備

⚠ 注意

- 準備作業は必ず電源コードの差込みプラグを抜いた状態で行なってください。
- 外したカバーは、もと通りに組付け、ボルト・ナットは確実に締付けてください。

1. 作業速度の選択

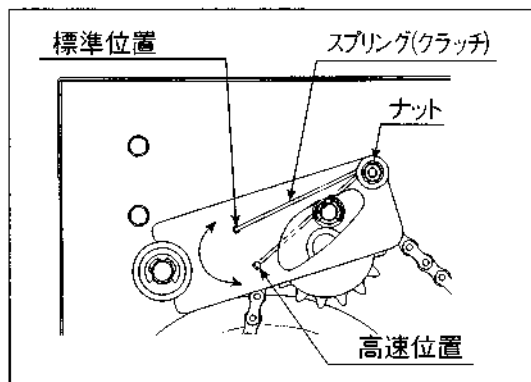
苗箱の送り速度を「標準」にするか「高速」にするか選択できます。

通常は洗浄精度のよい「標準」を使用しますが、洗浄精度が劣っても、処理時間を早くしたい場合は「高速」に切換えてください。

- スプリング（クラッチ）のナットを緩め、先端部を高速位置の穴に差込み、固定します。

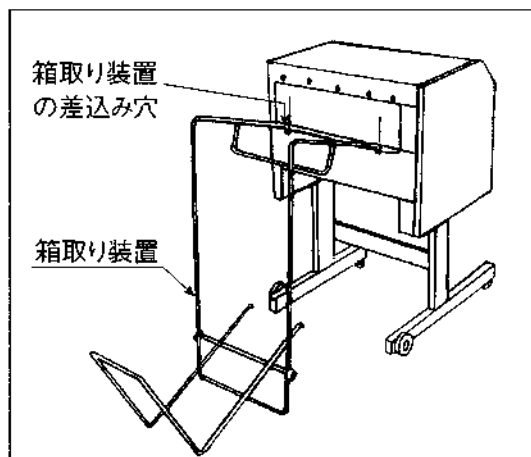
補 足

出荷時は標準位置にセットされています。



2. 箱取り装置の組付け

本体の排出口穴部に箱取り装置の差込み部を差込んでセットします。

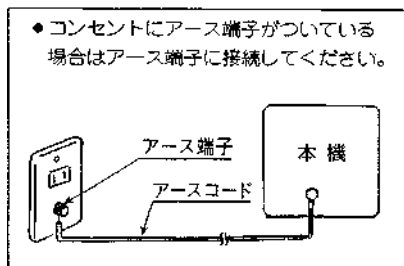


3. アースの接続

⚠ 注意

- アースコードは必ず接続して下さい。アースを接続しないと感電の危険があります。
- アースは、ガス管や水道管、電話や避雷針には絶対に接続しないで下さい。
- アースコードを延長して使用する場合は、必ず1.25mm以上のコードを使用して下さい。

① アースコードの先端は、次のいずれかの方法で必ずアースして下さい。



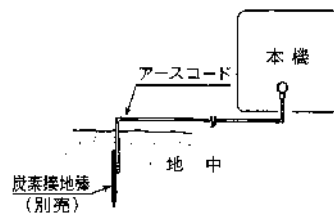
- コンセントにアース端子がない場合は炭素接地棒を使用して下さい。

注) 1. 本機に炭素接地棒は含まれておりません。

この場合アース工事は電気工事店に依頼して下さい。

(電気工事士格者が工事するよう法令で定めています。)

2. アース工事は有料です。
3. 炭素接地棒は必ず地中に埋設して下さい。



4. 電源盤コンセントの確認

注意

- 電源盤コンセントは漏電ブレーカ付のコンセントを使用してください。
- 電源は必ず交流100Vを使用し、直流100V（発電機など）での使用はしないでください。
- 電源コードを延長して使用する場合は、必ず0.75mm以上のコードを使用し、接続はオス・メスプラグを使用してください。又、タコ足配線はしないでください。
- 電源やモータの周囲に燃えやすいものを置かないでください。
0.75mm未満のコードを使用したり、コード同士を直接よって接続しますと、コード及び接続部が過熱し、ショートや火災の危険があります。

重要

- 電源盤のブレーカ容量は10A以上必要です。
- 延長コード（コードリール等）を使用したり、電源コードを延長して使用すると電圧が極端に低下し、モータが容量不足になることがあります。延長コードの使用や電源コードの延長は極力しないでください。

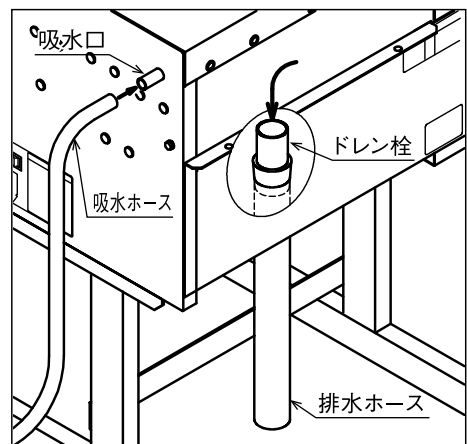
作業のしかた

注意

- 運転中は供給口や排出口に絶対に手を入れないでください。
- 運転中は周囲に人を近づけないでください。特にお子さんには注意してください。
- 運転中に異常が発生した場合は、すぐにスイッチを切り、差込みプラグを抜いてから点検してください。
- 運転中に停電または電源ブレーカが作動した場合は、すぐにスイッチをきってください。スイッチが入ったままで電気が復帰すると、突然機械が動きだし危険です。
- 機械から離れるときは必ずスイッチを切り、電源コードの差込みプラグを抜いてください。
- 作業中は手袋をしないでください。巻込まれ、ケガをすることがあります。
- 電源コードの差込みプラグを差込むときは、スイッチが「切」であることを確認してください。
- スイッチを入れるときは、補助者や周囲の人に合図をして、安全をじゅうぶん確認してください。
- カバーを外したままでは絶対にスイッチを入れないでください。回転体に巻込まれ、ケガをすることがあります。
- 暗いところでは作業しないでください。スイッチなどの位置がわからず危険です。
- 電源やモータの周囲に燃えやすいものを置かないでください。

1. ドレン栓、給水ホースのセット

- ①機体内にドレン栓が確実に差込まれていることを確認してください。
- ②給水ホースを給水口に差込み、水を給水します。
水がドレン栓上面よりあふれ、排水ホースから水が流れ出るようにします。
- ③電源コードの差込みプラグを電源コンセントに差込み、スイッチを「入」にします。

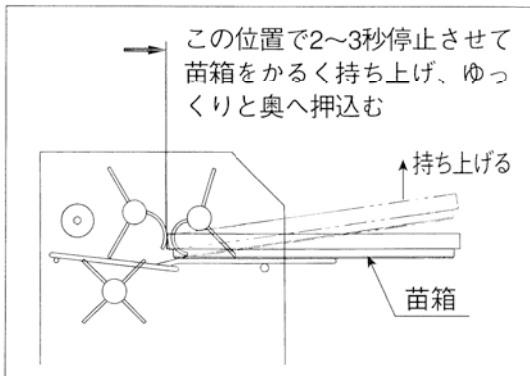


重要

ドレン栓が差込まれていなかったり、給水が不じゅうぶんだったりすると、機体内でのブラシによる水の循環がじゅうぶんにできないため、次のような不具合が生じます。

- 供給された箱に水がかからないため洗浄能力が低下する。
- 送りロールに付着した泥が取れず箱がスリップし排出できない(送りロール早期摩耗)。
- 樹脂部品(ブラシ、ブッシュ等)の摩擦熱による摩耗、き裂、変形が発生する。

④ 苗箱を供給口にゆっくり差込みます。



重要

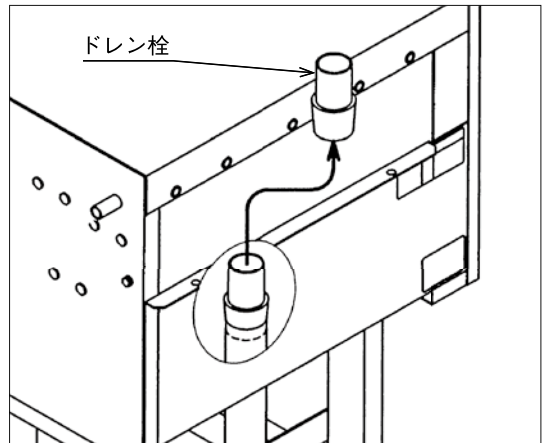
- 苗箱をゆっくり差込むと途中で苗箱を押し戻す力がはたらく位置があります。その位置で2~3秒停滞させてから、苗箱をかるく持ち上げ、ゆっくりと奥へ押込んでください。停滞させなかったり、速く押込むと箱の先行側の洗浄が不じゅうぶんになります。
- 箱と箱の間隔を10cm位あけて、供給してください。箱と箱が接近しすぎますと、その部分にブラシが当たらず洗浄が不じゅうぶんになります。
- 洗浄作業は、なるべく苗箱の土がかわく前に行なってください。土がかわいてしまった場合は、一度水でぬらした後に洗浄すると、一層きれいに仕上がります。
- 万一、作業中に箱が詰まった場合はすぐにスイッチを切ってください。そのままにしておくとモータが焼損します。

⑤ 箱取り装置に苗箱が10枚溜まったら取除きます。

⑥ 作業が終了したら、スイッチを「切」にし、電源コードの差込みプラグを抜き、給水を止めます。

2. 水の交換

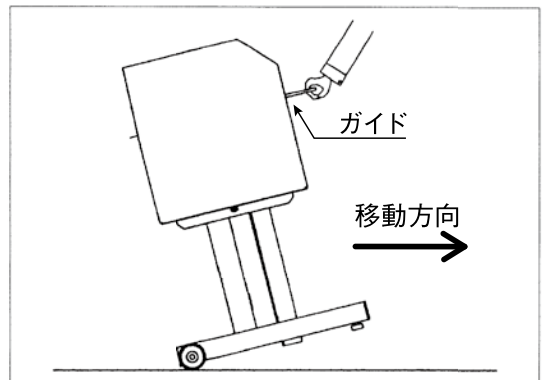
機体内に泥や根が多く堆積し、排水の水が汚れてきた場合は、機体の後側からドレン栓を抜いて泥や根を洗い流し、きれいな水と交換してください。



3. 移動

注意

- 供給口のガイドを持ち上げて引きながら移動してください。押すと機体が倒れ、ケガをすることがあります。



定期点検と調節

⚠ 注意

- 点検・調節は必ずスイッチを切り、電源コードの差込みプラグを抜いてから行なってください。
- 外したカバーは、もと通りに組付け、ボルト・ナットは確実に締付けてください。
- 各コード・プラグなどがいたんでいないか確認し、いたんでいたら交換してください。

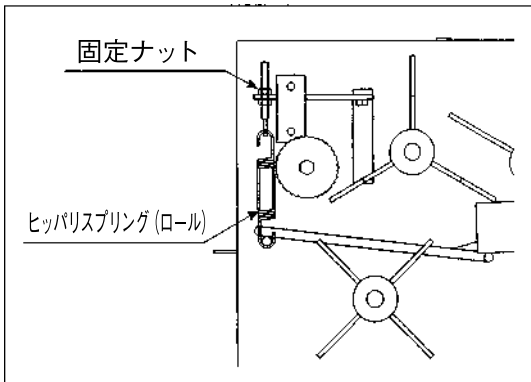
1. 泥、根の残留点検

■毎日作業前にカバー（ジョウブ）を開けて泥、根の残留や付着がないか確認し、もしあれば水で洗い流し除去してください。

2. バネの調節

■ヒッパリスプリング（ロール）

箱が途中で停滞する場合は、ヒッパリスプリング（ロール）の固定ナットを緩め、箱が停滞なく送れる程度までバネの張りを調節してください。



重要

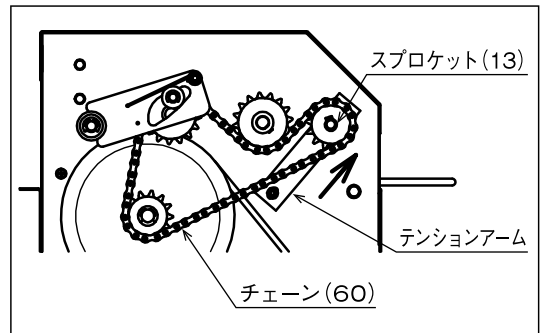
- 張り直す時は左右均等になるようにしてください。左右の張り荷重が異なると、箱が傾いてしまい、停滞の原因となります。

3. チェーン・Vベルトの張り調節

■チェーン

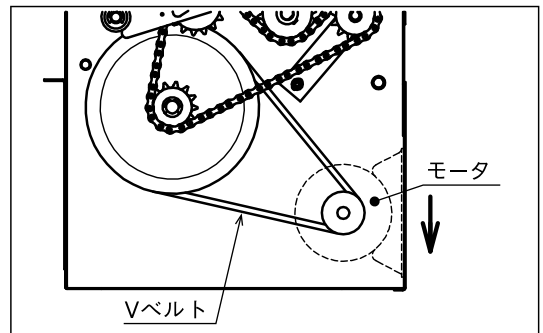
チェーンのたるみが原因で、苗箱を送らなくなったり、洗浄が極端に悪くなった場合は、カバー（フレーム）を外し、矢印方向にテンションアームを移動して張ってください。

（調節する時は、極度な張りすぎに注意してください。）



■Vベルト

Vベルトのスリップが原因で、苗箱を送らなくなったり、洗浄が極端に悪くなった場合は、矢印方向にモータを移動してベルトを張ってください。



重要

- Vベルトを張り直す時は、モータを平行に移動させてください。傾いて組付けますと、Vベルトの消耗が早くなります。

4. 定期注油箇所

■作業シーズン前の注油箇所

- ①チェーン（60）
- ②スプロケット（13）
- ③各軸受け部

長期格納

- ①各部に付着した泥、根の汚れを水で洗い落とし、そのあと乾いた布でふき取りじゅうぶんに乾燥させてください。
- ②定期注油箇所に注油してください。
- ③機械は風雨があたらずゴミのかからない乾燥した場所に保管してください。

警告

- スイッチ・モータには水をかけないでください。感電や漏電の危険があります

消耗部品

■主な消耗部品は、下記の通りです。

1. ブラシ、送りゴムロール
2. Vベルト、チェーン等の伝動部品
3. オイルシール等のゴム部品、ブラシ軸・送り軸の軸受け部品

品番	品名
14124-1121-2	ブラシ (L)
14124-1122-2	ブラシ (サイド)
14121-1141-1	ブラシ (F)
14121-1151-1	ブラシ (R)
14121-1162-1	ロール (オクリ)
14124-1197-1	チェーン (60)

品番	品名
71214-1126-1	Vベルト (A-34)
PA224-9268-1	オイルシール
14115-1141-1	ブッシュ
14121-1123-1	ブラケット (ブッシュ)
14126-2136-1	ブッシュ (22)

■必要となる消耗部品の詳細は、当社ホームページ <http://www.saitonouki.jp/> の部品一覧から、該当する型式を選択し参照してください。

不調の原因と処置

⚠ 注意

●点検・調整は必ずスイッチを切り、電源コードの差込みプラグを抜いてから行なってください。

現象	原因	処置
モーターが回らない 止まる	<ul style="list-style-type: none"> ●電気がきていない ●正規電圧がきていない 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源・差込みプラグ、コード類破損の確認、点検（注1） ●コードリールを使用している場合はコードリールの使用をやめる ●他の機器の電気を切る
箱が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ●送り力不足 ●苗箱の高さが低すぎる、又は高すぎる ●送りロールが摩耗している 	<ul style="list-style-type: none"> ●スプリングの張りを調節する 低すぎるときは張る 高すぎるときは緩める ●オクリロールを交換する
洗浄が不じゅうぶん	<ul style="list-style-type: none"> ●土がかわきすぎて落ちない ●ベルトのスリップ ●ブラシが摩耗している 	<ul style="list-style-type: none"> ●水を少しかけ、土がぬれた状態で作業する ●ベルトを張り直す ●ブラシを交換する

注1. ネズミなどの害によりコードが断線、短絡、漏電する場合がありますので、作業前に各コードをじゅうぶんに点検してください。

仕様

型式		SW-305
機体寸法 (箱取除く)	全長 (mm)	510
	全幅 (mm)	565
	全高 (mm)	830
重量 (kg)		36.7 (箱取含む)
電源 (V)		交流単相100
モーター (kW)		0.2 (分相始動)
作業能力 (枚/時)		200、300 (50Hz) ・ 240、360 (60Hz)
適用苗箱		水稲用プラスチック苗箱 (ポットは除く)

注) 木製の苗箱は使用できません。

安全説明確認カード

説明者(販売店・農協)控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名

印

販売店・農協名

担当者

形 式

製造番号

【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の明るさに注意をはらうこと。	
3. アースコードを必ず接続すること。	
4. コンセントにアース端子がない場合は炭素接地棒を使用してアースすること。この場合のアース工事は電気工事店に依頼すること。	
5. アースコードはガス管・水道管・避雷針などには絶対接続しないこと。	
6. 電源盤のコンセントは漏電ブレーカ付のコンセントを使用すること。	
7. 電源は必ず交流100Vを使用すること。直流100V（発電機等）での使用はしないこと。	
8. 電源コードを延長する場合は、オス・メスの防水コネクタを使用すること。また、タコ足配線はしないこと。	
9. 電源コードのプラグを差込むときは、スイッチが「切」であることを確認すること。	
10. モータの周辺に燃えやすいものを置かないこと。	
11. カバーを外したり、開けたままでは絶対にスイッチを入れないこと。	
12. スイッチを入れるときは周囲の人に合図をし、安全を確認すること。	
13. 運転中は作業や補助者以外、周囲に人を近づけないこと。	
14. 作業するときは絶対に手袋は着用しないこと。	
15. 運転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないこと。	
16. 泥・根などを取除くときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。	
17. 運転中に異常が発生したときは、すぐにスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。	
18. 運転中に停電、又はブレーカが作動したときは、すぐにスイッチを切ること。	
19. 機械から離れるときには、必ずスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。	

【点検・格納について】

チェック

1. 点検・調整はスイッチを切り、差込みプラグを抜いてから行なうこと。	
2. プラグやコードが損傷したら、すぐに交換すること。	
3. モータやスイッチに水をかけないこと。	

安全確認一覧表

【基本事項】

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

【作業について】

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の明るさに注意をはらうこと。
3. アースコードを必ず接続すること。
4. コンセントにアース端子がない場合は炭素接地棒を使用してアースすること。 この場合のアース工事は電気工事店に依頼すること。
5. アースコードはガス管・水道管・避雷針などには絶対接続しないこと。
6. 電源盤のコンセントは漏電ブレーカ付のコンセントを使用すること。
7. 電源は必ず交流100Vを使用すること。直流100V（発電機等）での使用はしないこと。
8. 電源コードを延長する場合は、オス・メスの防水コネクタを使用すること。また、 タコ足配線はしないこと。
9. 電源コードのプラグを差込むときは、スイッチが「切」であることを確認すること。
10. モータの周辺に燃えやすいものを置かないこと。
11. カバーを外したり、開けたままでは絶対にスイッチを入れないこと。
12. スイッチを入れるときは周囲の人に合図をし、安全を確認すること。
13. 運転中は作業員や補助者以外、周囲に人を近づけないこと。
14. 作業するときは絶対に手袋は着用しないこと。
15. 運転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないこと。
16. 泥・根などを取除くときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。
17. 運転中に異常が発生したときは、すぐにスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。
18. 運転中に停電、又はブレーカが作動したときは、すぐにスイッチを切ること。
19. 機械から離れるときには、必ずスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。

1. 点検・調整はスイッチを切り、差込みプラグを抜いてから行なうこと。
2. プラグやコードが損傷したら、すぐに交換すること。
3. モータやスイッチに水をかけないこと。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求め下さい。
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道営業所 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区长嶺南1丁目1番10号
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864

品番 14145-2169-1